



自由民主党 編集・発行 自由民主党さいたま市議会議員 桶本大輔

討議資料

桶本大輔市政報告ニュース

■ 〒336-0024 さいたま市南区根岸1-6-16

■ Phone: 048-865-6800

■ E-mail: okemoto@tiara.ocn.ne.jp

平成25年12月定例会報告(会期11月27日～12月20日までの24日間)

一般会計補正予算(1億418万1千円)など市長提出議案53件と「竜巻災害」に対する対策の強化を求める意見書など委員会提出議案2件、ウイルス性肝炎から進行した肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成等を求める意見書など議員提出議案5件のうち58議案を可決、同意しました。

12月定例会で、12月3日(火)に一般質問を行いました(持ち時間20分間)。

姉妹友好都市についてパネルを使用しての質問です。



1さいたま新都心のまちづくりについて

- (1) さいたま新都心のにぎわい創出について
- (2) バスターミナルについて
- (3) 広域防災拠点について

2姉妹友好都市との交流状況について

- (1) 現在の交流状況について
- (2) 新たな交流都市について

3子ども・若者支援事業について

- (1) 若者自立支援ルームについて
- (2) 放課後児童クラブについて

4さいたま市の入札制度について

- (1) 入札制度のありかたについて

(答え抜粋)さいたま新都心ににぎわい創出について

(答え/清水勇人さいたま市長) 2月に着工を予定している第8-1街区のさいたま赤十字病院と県立小児医療センターの移転をもって、街区の整備はおおむね完了することになります。その他民間所有地の新都心駅東側で片倉工業の所有する土地で、立体駐車場、その後大型ショッピングセンターが予定され、南側の三菱マテリアルの用地については、造幣局の移転計画があり、平成28年度の稼働を予定していると同っております。また、新都心西側の日本信号跡地には、本社及び大型商業施設の建設がすでにはじまっています。これらを活かし本市の都心にふさわしいにぎわいあふれるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

(答え抜粋)放課後児童クラブについて

(答え/高瀬賢司子ども未来局長) 本市の公設クラブは、低学年の入室を優先するため、障害児を除き原則として3年生までを対象としておりますが、平成27年度施行予定の子ども・子育て支援新制度により、放課後児童クラブの対象児童が全学年となるため、待機児童の拡大が予想されます。このため、特に公設クラブのみの小学校区を最優先とし、民設クラブの開設を積極的に進めることにより、待機児童の解消を図ってまいります。

※ 詳しくはさいたま市ホームページをご覧ください。 <http://www.city.saitama.jp>



さいたまクリテウム追加補助金 1億5千万円の補正予算案 廃案に！

さいたま クリテウム 関連追加 予算案、 廃案に！

さいたま市議会12月議会最終日の20日に10月にさいたま新都心で開催された国際自転車大会「さいたまクリテリウムbyツールドフランス」に補助金1億5200万円を追加支出する補正予算を審議未了、廃案としました。市の予算審議が廃案となるのは初めての事です。同大会の事業費は当初見込みの3億5千万円から、円高による為替差損や追加イベント、台風対策などで約2億円の増加。市は赤字補填のため、当初予算で補助金1億5千万円の倍増を補正提案する事態となりました。執行部の説明不足、参考人証言との食い違い、契約の不透明さ、追加発注の大会実行委員長(清水市長)専決の是非、経済波及効果への疑問などが廃案になった主な理由です。さいたま市では今後、追加負担分の補正予算案の再提出や、市議会の承認を得ずに支出する専決処分などを検討しています。

次回2月定例会は、2月12日(水)開会予定です！

桶本大輔 平成25年度
所属委員会

- まちづくり委員会 ●予算委員会 ●議会運営委員会
 - 適正な発注制度及び人員配置に関する調査特別委員会
- ※会派／事務局長

これからもさいたま市政発展の為に全力を尽くします。

さいたま市議会議員 桶本 大輔

● 連絡先 ●

〒336-0024 さいたま市南区根岸1-6-16 (さいたま市文化センター図書館向かい)

TEL 048-865-5100 ホームページ <http://www.okemoto.jp>

FAX 048-838-1731 ブログ <http://ameblo.jp/okemoto-daisuke/>

メール okemoto@tiara.ocn.ne.jp